

# 【第1学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成29年度＞

|    | 児童の課題  | 授業改善策   |
|----|--|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆相手の話を最後まで聞き、質問するなどやりとりする力を付ける必要がある。</li> <li>◆音読では、しっかりと声を出して読むことに課題がある児童がいる。</li> <li>◆言葉を正しく表記することに苦手意識をもつ児童が多く、個別支援が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○聞き方を意識した対話の時間を繰り返し設定し、意識付けをする。</li> <li>○国語や朝音読の時間を生かし、継続して指導していく。</li> <li>○ノートやプリントに文を書く活動を多く設定するなど繰り返し指導を行うことで定着させる。</li> </ul>                          |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆加法減法について、正しい計算の仕方が身に付いていない児童がいる。</li> <li>◆文章題の意味を正しく捉え、立式することが難しい児童への支援が必要である。</li> <li>◆時計を正しく読むことが困難な児童がいる。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○算数ブロックを操作する活動を入れたり、繰り返し問題を解いたりすることで習熟を図る。</li> <li>○問題文の言葉や文章を手がかりに図をかき、立式し、課題を解決させる。</li> <li>○該当する単元だけでなく、日常生活の中で繰り返し指導していく。</li> </ul>                   |
| 生活 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆動物や植物に触れる機会が少ないため、生き物と触れ合い、草花に興味をもって世話をする経験をさせる必要がある。</li> <li>◆家庭の中で自分の役割に進んで取り組むことに課題があり、家庭と連携を図りながら支援していく必要がある。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校庭の草木などの学校にある自然環境や、生活科見学で行く公園の自然環境を生かし、生き物や植物に慣れ親しむ活動を多く取り入れる。</li> <li>○学習の中で自分が家族の一員としてどのようなことが出来るか考える場を設定し、家庭にも協力してもらう。</li> </ul>                       |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆みんなで歌ったり演奏したりすることに抵抗を感じる児童がいる。</li> <li>◆鍵盤ハーモニカの運指に関する指導をより進める必要がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○歌うことや演奏することを楽しむ中で、音をよく聴くように指導するとともに階名による模唱やリズム打ちに親しみながら音程感やリズム感を付けていく。</li> <li>○運指に関して、個別に指導する時間を設ける。</li> </ul>   |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆のりやはさみ、絵の具などの用具の使い方に慣れていない児童がいる。</li> <li>◆自由に描く、作るというテーマに対して、課題を決めることが難しい児童への支援が必要である。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○用具の扱い方に関する基本的なルールを明確に提示し、技能を身に付けさせる。</li> <li>○制作過程を楽しめる活動を多く取り入れる。</li> <li>○教師が手本を見せることで安心して取り組めるように手順を示す。</li> <li>○友達の作品を見る学習を取り入れ、鑑賞を楽しく行う。</li> </ul> |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆体を動かすことが好きな児童が多い一方、少し運動ただけで疲れてしまう児童がいるので、体力の向上を図る必要がある。</li> <li>◆ルールを守ったり、友達と仲良く取り組むことを課題とする児童が多く、個別支援が必要である。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○遊具遊びなどを通して基礎感覚を養うとともに、あらゆる領域で力いっぱい活動する場を設定し、体力の向上を図っていく。</li> <li>○ゲーム的な運動を取り入れ、ルールを守ってグループのメンバーが協力することで楽しく活動できる経験をさせる。</li> </ul>                          |

# 【第2学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成29年度＞

|    | 児童の課題   | 授業改善策   |
|----|---|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆相手の話を最後まで聞き、内容に合った質問をする力を付ける必要がある。</li> <li>◆音読では、しっかりと声を出して読むことができる児童もいるが、個人差が見られる。</li> <li>◆言葉を正しく表記することや、句読点を正しく使うことを苦手とする児童がおり、個別支援が必要である。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○聞き方を意識した対話の時間を繰り返し設定し、意識付けをする。</li> <li>○国語や朝音読の時間を生かし、継続して指導していく。</li> <li>○ノートやプリント、日記帳に文を書く活動を多く設定するなど繰り返し指導を行うことで定着させる。</li> </ul>  |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆繰り上がりや繰り下がりのある加法減法について、正確に計算することが難しい児童がおり、習得への個別支援が必要である。</li> <li>◆文章題の意味を正しく捉え、立式することが難しい児童への支援が必要である。</li> <li>◆時刻と時間、長さの測り方に課題があり単位の換算も含め支援が必要である。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中や宿題などで、繰り返し問題を解いたり、個別指導を行うことで習熟を図る。</li> <li>○問題文の言葉や文章を手がかりに図をかき、立式し、課題を解決させる。</li> <li>○東京ベーシック・ドリルの活用等、家庭での既習事項の練習を大切に、繰り返し行うことで習熟を図る。</li> </ul>   |
| 生活 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆動物や植物に触れる機会が少ないため、昆虫と遊ばせたり、草花に興味をもって世話をさせたりする経験をさせる必要がある。</li> <li>◆家庭の中で自分の役割に進んで取り組むことに課題があり、家庭と連携を図りながら支援していく必要がある。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校庭の草木などの学校にある自然環境や、生活科見学で行く公園の自然環境を生かし、生き物や植物に慣れ親しむ活動を多く取り入れる。</li> <li>○学習の中で自分が家族の一員としてどのようなことが出来るか考える場を設定し、家庭にも協力してもらう。</li> </ul>   |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆リズムや音程などがあいまいになっていることがある。</li> <li>◆鍵盤ハーモニカの運指に関する指導をより進める必要がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○音をよく聴くように指導するとともに階名による模唱やリズム打ちに親しみながら音程感やリズム感を付けていく。</li> <li>○運指に関して、児童に個別に指導する時間を設ける。</li> </ul>  |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆のりやはさみなどの用具の使い方に慣れていない児童への手だてが必要である。</li> <li>◆自由に描く、作るというテーマに対して、課題を決めることが難しい児童への支援が必要である。</li> <li>◆色を塗ることに、クレパスでの色の塗り方や絵の具の分量や色の混ぜ方の調節に課題をもつ児童への支援が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○用具の扱い方に関する基本的なルールと技能を身に付けさせる。</li> <li>○作品として完成させることを目的とせず、制作過程を楽しめる活動を多く取り入れる。</li> <li>○教師が手本を見せることで安心して取り組めるように手順を示す。</li> <li>○友達の作品を見る学習を取り入れ、鑑賞を楽しく行う。</li> <li>○色の塗り方について、日常的に指導すると共に、絵の具やクレパスを使う活動を多く設定し、繰り返し指導する。</li> </ul> |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆体を動かすことが好きな児童が多い一方、少し運動しただけで疲れてしまう児童がいるので、体力の向上を図る必要がある。</li> <li>◆ルールを守ったり、友達と仲良く取り組むことを課題とする児童が多く、個別支援が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○遊具遊びなどを通して基礎感覚を養うとともに、あらゆる領域で力いっぱい活動する場を設定し、体力の向上を図っていく。</li> <li>○休み時間での外遊びを充実させる。</li> <li>○ゲーム的な運動を取り入れ、ルールを守ってグループのメンバーが協力することで楽しく活動できる経験をさせる。</li> </ul>   |

# 【第3学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成29年度＞

|    | 児童の課題  | 授業改善策   |
|----|--|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の経験したことや考えたことについて話したり聞いたりする力に個人差があり、苦手な児童への指導が必要である。</li> <li>◆既習の漢字の使い方の定着を図る指導をさらに行う必要がある。</li> <li>◆文章力に個人差があるので、苦手意識の強い児童には個別の支援が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○対話やグループで話し合う場を意図的に設定し、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりする機会を増やす。</li> <li>○朝の会などの場で、継続的にスピーチ(グループ)に取り組む。</li> <li>○漢字学習ノートの活用や、小テストを繰り返し行い、漢字習得の定着を図る。</li> <li>○教科書の音読と漢字の練習を宿題として毎日取り組ませる。</li> <li>○スキルアップタイムなどで、質問力を育てる。</li> <li>○自分の考えを整理して分かりやすく伝えるために、書きたいことを明確にもつことや手本となる文章を示し、視写させることで書き方を身に付けさせる。</li> </ul> |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆資料を読み取り活用する能力に個人差がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な地図の活用の仕方や資料の読み取り方法について指導する。</li> <li>○学習のまとめを新聞や発表など工夫させ、交流する。</li> </ul>   |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆発言が多い児童だけではなく、なかなか発言ができない児童も活躍ができる工夫が必要である。</li> <li>◆四則計算を苦手とする児童がいて、じっくりと取り組む時間をとる必要がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○できるだけ多くの児童に発言の機会を与え、児童相互の考えを交流する機会を多くし友達の考えを聞き、整理して表現する力を伸ばす。</li> <li>○理解を深めるために絵や図、数直線図を活用する等、算数的活動を積極的に取り入れる。また数直線図の利点を理解させ積極的に活用しようとする姿勢を育てる。</li> <li>○東京ベーシック・ドリルに毎週一回必ず取り組み、反復的な学習を通して計算力の定着を図る。</li> <li>○個別指導が必要な児童へは、個別の課題を明確にし放課後補習教室等を活用し理解を深めさせる手だてとする。</li> </ul>                             |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆身近に見られる動物や植物の観察をする際に、細部までじっくり観察することに課題がある。比較しながら調べたり、疑問をもって課題解決していったりする経験を意図的に設定していく必要がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察の視点、表現の仕方や実験方法などの基礎・基本の定着を図る。</li> <li>○ノート指導などを通して探究の過程の流れを身に付けさせる。</li> <li>○体験活動を多く取り入れるとともに、映像、写真等の視覚教材を活用することによって解決への手だてとする。</li> <li>○家庭と協力して動植物を飼育・栽培するなどの体験を豊かにする。</li> </ul>   |
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自ら課題を設定する力や、課題解決の見通しをもつ力が十分でない。それらの力を高めるための具体的な指導が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的に地域に出るなど体験的な活動を多く取り入れることで、意欲的に取り組む工夫をする。また地域ボランティアを積極的に活用していく。</li> <li>○事前に計画を立てる等の学習方法や資料の収集方法、結果をまとめ、発表する方法などを丁寧に指導する。</li> <li>○社会、理科、国語との関連学習を多くし、時間に余裕をもたせることにより主体的に学ぼうとする姿勢を育てる。</li> </ul>   |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆意欲的に楽しく活動に取り組んでいる児童が多いが、表現の仕方を自分から考え工夫したりすることのできる児童は、まだ少ない。</li> <li>◆リコーダーへの興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいるが、タンギング・運指の十分でない児童への指導が必要である。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の表現を認め、よい意見や表現の工夫を紹介し、全体に広げ互いに学び合い高め合えるような指導の工夫をする。</li> <li>○思ったことや感じとったことは、比べ合ったり、発表し合ったりし、自分と他とを比較・共有できるような学習活動の工夫をする。</li> <li>○リコーダーでは、児童の実態に応じた個別指導と、反復練習を行い、ペア学習、グループ学習など互いに教え合う場の設定をする。</li> </ul>  |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆表現活動を楽しむことができるが友達の作品を見たり表現の工夫をしようとしたりする意識が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な材料に出会い、いろいろな道具を使う経験ができるよう題材を工夫する。</li> <li>○活動の流れを掲示し、より主体的に活動できるようにする。</li> <li>○友達と作品を見合い、お互いのよいことなどを伝え合い、創作意識を高めるようにする。</li> </ul>  |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆技術を習得するために考え、工夫することが苦手な児童が多く具体的な手だてが必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な技術を指導し、友達同士で話し合う時間を多く設定し、技術や思考を共有できるようにする。</li> <li>○個人カードやチームカードの活用によりポイントを明確にし、手だてとする。</li> </ul>   |

# 【第4学年】児童の課題及び授業改善策

<平成29年度>

|    | 児童の課題  | 授業改善策   |
|----|--|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の考えをもつことはできるが、それを明確になるように語と語や文と文に気を付け、つながりのある文章を書く力が必要である。</li> <li>◆自分の思いや考えを話すことは概ねできるが、個人差があるので、個別支援が必要である。</li> <li>◆漢字の書き取りテストでは、正しく書き取ることのできる児童が多いが、文章の中で使用する力が弱い。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材を明確にし、それに必要な情報を集め書く練習を多く取り入れる。また上手に表現できる児童の作品を読み合うことを意識的に取り入れる。</li> <li>○国語科の学習を通して対話の基礎的な力を身に付けるとともに、他教科や道徳等の場においても話し合う機会を設定する。</li> <li>○定期的に漢字の習得状況がチェックできるようミニテスト等を実施するとともに、普段文章を書くときにも使用できるように意識的に声掛けをしたり、短文を漢字に直す練習を取り入れる。</li> </ul>                            |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆資料（特にグラフ）を読み解く力に課題があり、資料から自分の考えを出せるようにしていく指導の工夫が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○調べ学習を普通の授業に多く取り入れたり、学習の最後に感想を書かせることで、自分の考えを表現できるようにする。</li> <li>○授業の中で資料の読み方を一つ一つ丁寧に指導する時間を設ける。</li> </ul>  |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆課題を理解するための支援を必要とする児童への指導の工夫が必要である。</li> <li>◆図形分野で、教具の使い方に支援を必要とする児童があり、個別支援が必要である。</li> <li>◆基礎的な計算力を身に付けるために、個別支援を中心に、全体での底上げが必要である。</li> <li>◆数量関係の領域で理解が弱いため、指導の工夫が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童同士の意見交換を積極的に行うことで、多角的に問題を考える力を育てるとともに、理解を深める場とする。</li> <li>○実物投影機などを活用し、教具の使い方を丁寧に指導することで教具の有効性を理解し積極的に活用しようとする姿勢を育てる。</li> <li>○放課後チャレンジ教室等、個別に指導できる機会を活用する。また、授業中や家庭学習において繰り返し問題を解いて習熟を図る。</li> <li>○図や表を適切に用いることができるよう、意識的に取り入れていく。また、量感をイメージさせながら指導していく。</li> </ul> |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実験・観察を通して解決していく科学的な考え方に課題があり、支援が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察の視点、表現の仕方や実験方法などの基礎・基本を押さえる。</li> <li>○課題→予想→実験観察→結果の流れで学習するよう指導する。</li> </ul>  |
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自ら課題を見付け、さらに追究する力を育てる活動が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決に向けた学習の取り組みに、見通しがもてるようなアドバイスや資料提供を行っていく。</li> </ul>   |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆楽しく主体的に取り組んでいる児童が多いが、活動意欲を更に高めていく必要がある。</li> <li>◆技能面に個人差があり、個別支援が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の中で互いに表現のよいところを発表させ、学び合い高め合う学習活動を取り入れるようにする。苦手意識のある児童には、できるようになったことを評価し、次の段階への意欲をもたせるようにする。</li> <li>○スモールステップによる個に応じた指導パターンを用意し、継続した指導を行う。</li> </ul>  |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆活動することに意欲的な児童が多い。</li> <li>◆学習のめあてを意識して取り組むことが難しい児童には個別に指導に当たる必要がある。</li> <li>◆いろいろな道具を取り入れ、表現を工夫する意識を高める。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○道具、材料の使い方など基礎的な内容の定着を図る様な題材を工夫する。</li> <li>○自分の作品や友達の作品のよいところについて話をする活動を取り入れる。</li> <li>○参考作品や資料を準備し、活動を見直しながら創意工夫を重ねて活動する力を培う。</li> </ul>  |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆めあてに向けて地道な努力が必要な取り組みに対して、粘り強さや体力的な面で個人差があり、指導の工夫が必要である。</li> <li>◆運動に苦手意識をもっている児童も多く、授業の組み立てに工夫が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○集団で活動するよさを取り入れルールを守って行動できるようにする。</li> <li>○児童一人一人が、自分に合っためあてをもてるような学習資料の提供を行い、楽しく継続して運動できるようにする。</li> <li>○意欲的に参加できるように運動の場を工夫する。</li> </ul>  |

# 【第5学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成29年度＞

|       | 児童の課題  | 授業改善策  |
|-------|--|--|
| 国語    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆話したり聞いたりする力は身に付いてきている。しかし、関係付けて話し合う力を更に高める必要がある。</li> <li>◆自分の考えや思いを文章で表現することには、個人差が大きい。</li> <li>◆文や文章を読み、情報を正確に取り出す力は身に付いてきている。しかし、比較したり解釈したりする力を更に高める必要がある。</li> <li>◆基礎的な言語の力は身に付いているが、日々の学習活動の中で生かすことに課題がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○対話タイム、各教科において、日頃から話し合いの場面を意図的に設定する。関係付けて話し合うモデル、学習の手引き、言葉の宝箱等を活用し、指導を継続する。</li> <li>○作文200字帳を活用し、日常的に書く場面を設定する。苦手な児童には個別に指導・支援していく。</li> <li>○文章を読み比べる学習活動や解釈するための学習課題の意図的な設定をしていく。また、対話型学習を進め、お互いの考えを伝え合いながら、自分の考えを深めたり広げたりする活動を設定する。</li> <li>○あらゆる学習活動において、言語の指導を行っていく。国語科に留まらず教科横断を意識して日常的な指導を継続する。</li> </ul> |
| 社会    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆社会科に対する興味・関心は高いが、社会的事象の知識・理解の習得に苦手意識のある児童が多い。</li> <li>◆身の周りや世の中の社会情勢に関する興味・関心に個人差がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容を丁寧におさえ、苦手意識が特に高い児童には個別支援を行う。また、視覚的な教材の活用や多様な学習活動を設定し、児童にとって分かりやすい授業づくりを進める。</li> <li>○日頃から世の中の動きを知るためにニュースや新聞記事等に目を向けることを働きかける。</li> </ul>  |
| 算数    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆四則計算の習熟における個人差がある。基礎的な知識や技能を身に付けさせる必要がある。</li> <li>◆問題を解決するために様々な方法、数直線や図の有効性を理解させるための指導を多く取り入れる必要がある。</li> <li>◆学力調査等の結果から、表や図を読み取り、情報を整理する問題の正答率が低いことが分かった。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○習熟度別のグループで学習し、個に合った指導を行う。支援を必要とする児童は放課後チャレンジ教室を活用し、個別に課題を与え学力の定着を図る。</li> <li>○数直線や図を積極的に活用させ問題を解決する有効な手段であることを知らせる。また、話し合い活動を多く取り入れ、様々な考えがあることに気付かせていく。</li> <li>○授業においてだけでなく、パワーアップタイムの時間に、東京ベリック・ドリル等を用いて苦手な領域について繰り返し学習する。</li> </ul>  |
| 理科    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆観察や実験には意欲的に取り組むが、予想と結果を結びつけて考察する力、まとめていく力には課題が残る。</li> <li>◆基礎的・基本的な知識の習得が不十分な児童がいた。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察や実験を行う際には、その目的を明確にして行うようにする。また、結果からわかることを丁寧にまとめていくようにする。</li> <li>○ノートやプリントなどを使って復習をし、知識の定着を図っていく。</li> </ul>  |
| 総合    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自らの課題を設定し、課題を追究する力は自分身に付いてきている。更に課題追究の方法を具体的に指導していくことが必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決の調べ方やまとめ方について、具体例を挙げるとともに、交流を通して更に学びを深めていく。</li> </ul>   |
| 音楽    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆課題に対して真面目に取り組む意欲もある。主体的に課題を見付ける力をさらに高めたい。</li> <li>◆技能面において個人差があり、苦手な児童への個別指導が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○表現力、鑑賞力向上の為、一人一人「考え工夫する」具体的めあてをもたせると共に、学習の中で互いの表現の工夫や良いところを発表し合い、学びあい高め合う学習をさらに取り入れるような指導の工夫を行う。</li> <li>○個に応じた指導を継続して行う。</li> </ul>  |
| 図工    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆構想をたて、見通しをもつ力を身に付けるための指導の工夫が必要である。</li> <li>◆基本的な技能がまだ十分に身に付いていない児童がおり、安全に配慮した個別支援が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の見合い時間を取り、お互いのよい点を見付け、話し合う活動を積み重ねる。</li> <li>○クロッキー帳や学習カードを工夫して、計画を立てたり、見通しをもったりする指導をする。</li> <li>○用具や道具の扱いなど必要に応じて個別指導し安全で適切に学習に生かせるようにする。</li> </ul>   |
| 家庭    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆調理や裁縫の実習に興味をもって取り組んでいる。裁縫技術は個人差があるが、意欲的に作品作りを行っている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別支援を充実させ、丁寧に分かりやすく指導していく。</li> </ul>  |
| 体育    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆運動に対する意欲・関心が高い児童が多い。ボール運動や器械運動は個人差が見られる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のめあてを明確にしていくとともに、運動のポイントなども例示し、学習を進めていく。学習カードなども取り入れていくようにする。児童の運動量が確保できるよう、活動の場やチームの構成などを工夫していく。</li> <li>○運動の特性に応じた動きを指導したり、友達同士で教え合う活動を取り入れたりする。</li> </ul>   |
| 外国語活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆意欲的に外国語活動に取り組む児童が多い。交流が苦手な児童に対して支援を更に行う必要がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が進んで発話する活動を取り入れるよう、ALTと連携を図る。</li> <li>○アクティビティを充実させ、児童がコミュニケーションを図る機会を多く設定する。</li> </ul>  |

# 【第6学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成29年度＞

|       | 児童の課題  | 授業改善策  |
|-------|--|--|
| 国語    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆話し合いに対して前向きに取り組む児童が多い。自分の考えを述べることもできている。相手に分かってもらえるような言い方、相手の意図を考えて聞く力が課題として残る。</li> <li>◆自分の考えを明確にし、目的や意図に応じて文章を書くことに苦手意識をもつ児童が多い。</li> <li>◆漢字の読み書きは概ね身に付いている児童が多いが活用する力を高めていく必要がある。また、語彙力がやや乏しいところがある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアやグループでの交流、対話、スピーチを積極的に取り入れた授業を行う。話すだけでなく、相手の話の意図を考えながら聞き、受けて応えることを意識させていく。</li> <li>○様々な学習の場面で書く機会を多く取り、書くことに慣れさせる。児童相互で読み合ったり、上手に書けている児童の文章を例示したりすることを通して、書き上げる文章のイメージをもたせる。</li> <li>○学習した漢字はすすんで使っていきように心がけさせる。また、読書の推進、辞書の活用などを通して語彙力を高めるようにしていく。</li> </ul> |
| 社会    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆資料から読み取り、問題を解決する技能は概ね身に付いてきた。しかし、歴史上の人物や歴史に関する用語などを覚えることができない児童が多い。</li> <li>◆歴史分野に興味をもつ児童が多い。個人差はあるが、自主的に学習する姿が多く見られる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決型の授業を継続しつつ、知識・理解を定着させられるよう、練習問題に取り組む時間も確保していく。</li> <li>○資料を読み取る力をより高めるため、資料集や教科書をそのまま見せずに、タブレット端末を活用し、考えるための必要最低限の情報から問題を解決させる学習を行っていく。</li> <li>○導入でより関心を高める工夫を行っていく。</li> </ul>   |
| 算数    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆四則計算の習熟における個人差が大きい。基礎的な知識や技能を身に付けさせる必要がある。</li> <li>◆表や図を用いて問題を解決できるよう、数直線や図の有効性を理解させるための指導を多く取り入れる必要がある。</li> <li>◆全国学力調査等の結果から、単位量あたりの大きさを求めることや表や式が表していることを読み取る力が不足していることが分かった。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○習熟度別のグループで学習し、個に合った指導を行う。支援を必要とする児童は放課後チャレンジ教室を活用し個別に課題を与え定着を図る。</li> <li>○数直線や表、図を積極的に活用して問題を解く場面を多く取り入れる。また、話し合い活動を多く取り入れ、様々な考えがあることに気付かせていく。</li> <li>○パワーアップタイムに、東京ベーシックドリル等を用いて、苦手な領域について繰り返し学習していくようにする。家庭学習においても習熟を図り、学力を定着させる。</li> </ul>                  |
| 理科    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆観察や実験には意欲的に取り組むが、予想と結果を結びつけて考察する力、まとめて表現する力には課題が残る。</li> <li>◆基本的な用語や、応用力を試すような問題につまずく児童が多い。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察や実験を行う際には、その目的を明確にして行うようにする。また、結果からわかることを丁寧にまとめたり、グループで表現し合う活動を取り入れていく。</li> <li>○実践的な学習プリントなどを使って復習をし、知識の定着を図っていく。</li> </ul>   |
| 総合    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自らの課題を設定できるが、課題を追究する力が十分ではない。課題追究の方法を具体的に指導していくことが必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人に具体的なめあてをもたせるとともに、毎時間ふり返りをさせ、計画的に取り組む事ができるようにさせていく。また、調べ方やまとめ方については、具体例をあげるとともに、よくまとめている児童のものを紹介するなどして指導していく。</li> </ul>   |
| 音楽    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆課題に対して真面目に取り組む意欲もあるが、領域によって取り組みへの意欲に差がある。</li> <li>◆精神的、身体的発達の影響もあり、表現することをはずかしいと感じ表現活動に消極的になってしまう児童がいる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの領域も、楽しく学習ができるよう、一人一人に具体的なめあてをもたせると共に、互いの表現の工夫や良いところを発表し合い、学びあひ高め合う学習をさらに取り入れるような指導の工夫を行う。</li> <li>○互いの良さを認め合い、集団としての力を大きくしていけるようにする。</li> </ul>   |
| 図工    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆発想や構想を練るまでに時間を要する児童が多い。</li> <li>◆見通しをもって活動したり、構想に基づき、創意工夫しながら活動することに指導が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の児童の進度に合わせて支援する。</li> <li>○参考作品や資料を準備し、考えながら取り組めるようにする。</li> <li>○友達と活動を見合い、よい点を見付け、伝え合う活動を積み重ねる。</li> <li>○活動を見取り、その場で支援したり、学習カードに毎時の活動を評価したりして、創作意欲を継続させる。</li> </ul>  |
| 家庭    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆調理や裁縫の実習に興味をもって取り組んでいるが、ミシン縫いをはじめとする技能面での差がある。技能習得のための個別支援が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別支援を充実させ、丁寧に分かりやすく指導していく。</li> </ul>  |
| 体育    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆運動に対する意欲や苦手意識に個人差が大きい。特に、ボール運動や器械運動など苦手な児童が多い。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のめあてを明確にしていくとともに、運動のポイントなども例示し、学習を進めていく。また、タブレットを活用して自分自身の動きを見て確認することも取り入れていく。児童の運動量が確保できるよう、活動の場やチームの構成などを工夫していく。</li> <li>○運動の特性に応じた動きを指導したり、友達同士で教え合う活動を取り入れたりする。</li> </ul>  |
| 外国語活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆繰り返し話すことで外国語でコミュニケーションすることを楽しむ児童が増えてきたが交流が苦手な児童に対しての支援が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が進んで発話する活動を取り入れるよう、ALTと連携を図る。</li> <li>○アクティビティを充実させ、児童がコミュニケーションを図る機会を多く設定する。</li> </ul>  |